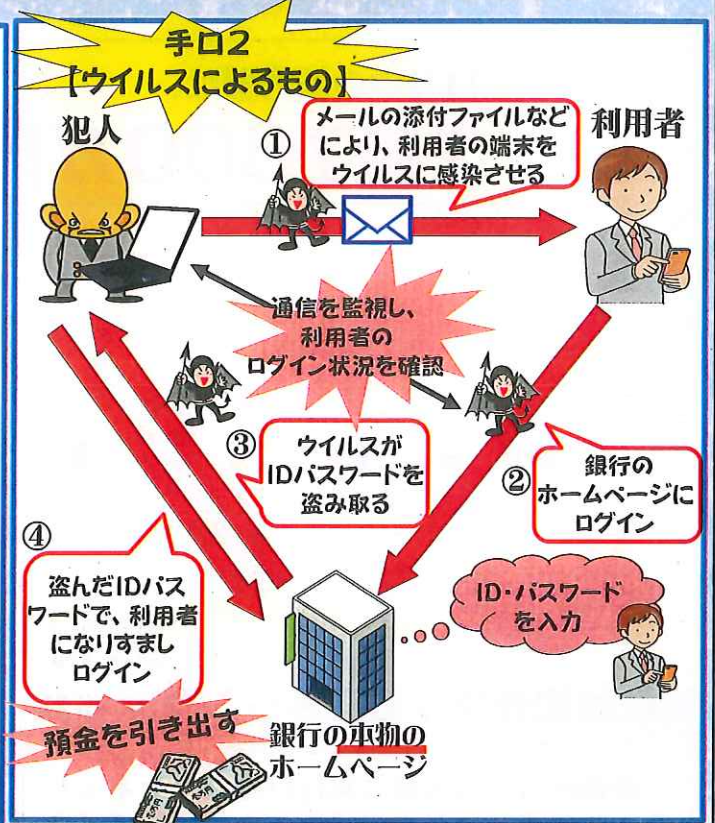
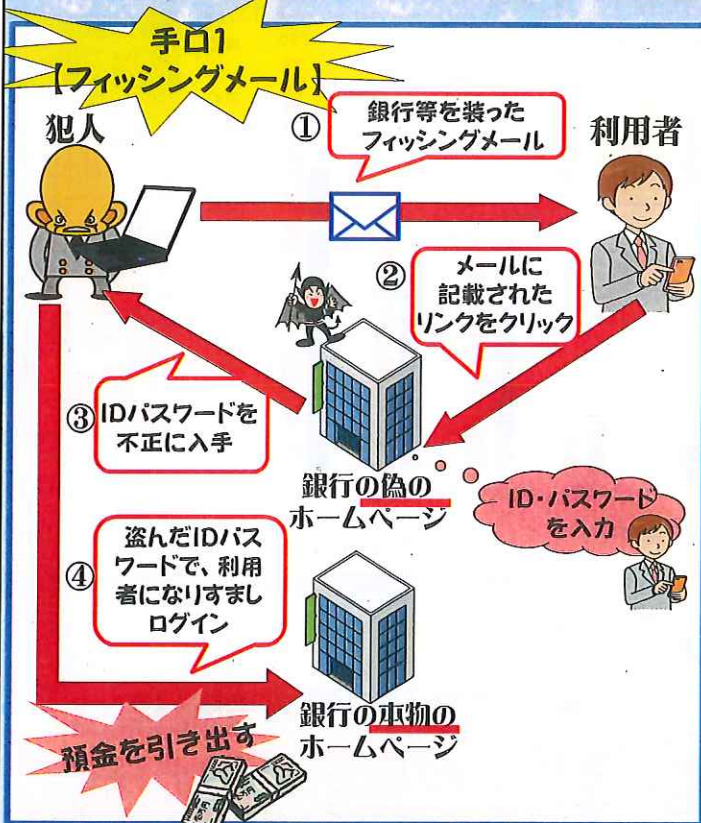


不正送金にご注意を！

インターネットバンキングを標的とした不正送金事案が増加しています。ある日、突然、自分の口座の預金が、他人の口座に送金される…！？そんな被害を防ぐために、不正送金事案の手口と対策を紹介します。



俺は、ウイルス対策ばっちりだし、フィッシングメールだって開かない！だから、俺は被害に遭わないぞー！

ちょっとまって！
ID・パスワードを使い回していない？
総当たり攻撃（考えられる全てのパスワードを試す方法）によって、ログインされてしまう可能性もあるのよ！
パスワードの使い回しは絶対にダメ！



対策

- OSやソフトウェアは、常に最新の状態にする
- ウイルス対策ソフトは必ず導入する
- 二要素認証（ワンタイムパスワードなど）がある場合は、利用をする
- パスワードを複雑化し、使い回しはしない
- 銀行の口座を小まめに確認をする
- 怪しいメール、メールに添付されたファイル、リンクは開かない

CyberNews

令和2年1月
宮城県警察本部
サイバー犯罪対策課

インターネットバンキングによる 不正送金の被害が増加

インターネットバンキングに係る不正送金事案が全国的に急増しています。
昨年9月から被害件数、被害額ともに急増しており、10月以降も被害が多発しています。

不正送金事犯発生状況(令和元年11月末現在)



11月中の被害額は、

7億7600万円！！



※出典元:警察庁サイバー犯罪対策プロジェクト

流行の手口

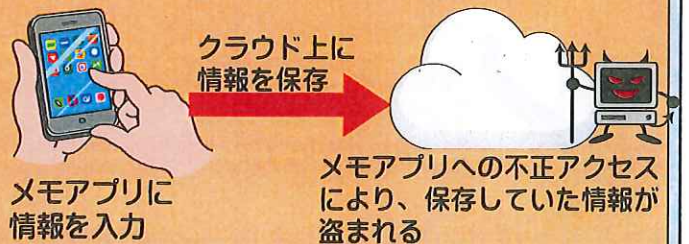
金融機関を装ったフッシングメール

【●●銀行】お客様の銀行口座は、セキュリティ強化手続きが未完成のため、再開手続きをもう一度お申込ください。
<https://●●●.com>

金融機関を装ったショートメッセージ(SMS)を送りつけ、正規の金融機関のサイトを模範した偽サイトに誘い混み、個人情報、口座番号などを入力させ、情報を盗み取る。

メモアプリの情報が窃取

クラウド上に保存しているメモアプリの情報(ID・パスワードなど)が盗まれてしまう。



不正送金の被害に遭わないために

- 金融機関のサイトへのアクセスは、正規のサイトから
- 怪しいメールに添付されたファイル、リンクは開かない
- メモアプリにID・パスワードを保存しない
- ID・パスワードは使い回しをしない

